

沖繩県経済動向

平成 30 年 2 月 15 日

沖繩県企画部企画調整課

沖縄県経済動向

景気は、拡大している。

※指標は平成 29 年 10 月－12 月期、増減率は前年同期比とする

【観光】

- ・ 入域観光客数は、好調に推移しており、航空路線の拡充等により、前年を上回っている。外国客は高い増加率で推移している。
(総数 +9.6%、国内客 +2.9%、外国客 +34.5%)
- ・ 主要ホテル客室稼働率は、前年を上回っている。(客室稼働率 78.3%、+0.3)

【個人消費】

- ・ 百貨店・スーパー・コンビニ売上高は、既存店、全店舗とも前年を上回っている。
(売上高 既存店 +1.6%、全店舗 +4.0%)
- ・ 自動車(新車)の販売は、総台数は前年を下回り、軽自動車数は前年を上回っている。
(総台数 Δ 2.1%、軽自動車 +5.0%)

【建設関連】

- ・ 住宅着工は、戸数は前年を下回り、面積は前年を上回っている。非居住建築物については、面積、工事費とも前年を下回っている。
(住宅着工面積 +4.6%、非居住建築物工事費 Δ 46.4%)
- ・ 公共工事請負保証額は、前年を下回っている。(公共工事請負保証額 Δ 16.7%)

【雇用情勢】

- ・ 完全失業率は前年と同水準で推移している。(完全失業率 3.6%(原数値)、+0.0)
- ・ 有効求人倍率は、前年を上回って推移している。(有効求人倍率 1.14 倍、+0.13)

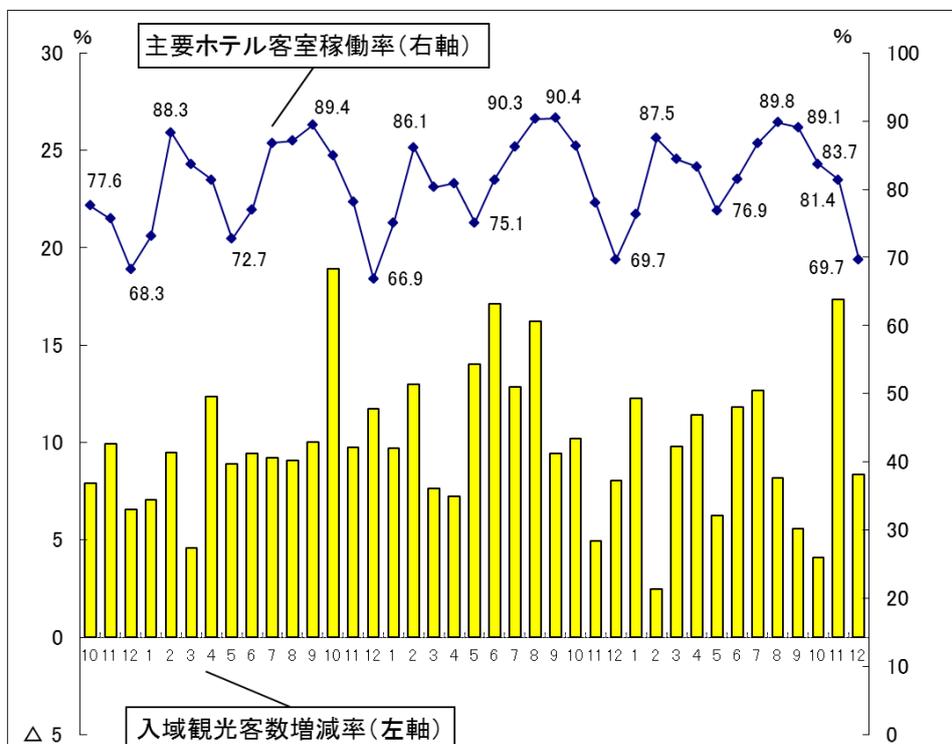
【物価】

- ・ 消費者物価指数は、前年を上回って推移している。
(消費者物価指数(総合) +0.7%)

- 以上のように、観光関連については、入域観光客数が航空路線拡充等により、前年を上回って推移している。個人消費については、百貨店・スーパー・コンビニ売上高は既存店、全店舗ともに前年を上回っている。建設関連については、非居住建築物工事費と公共工事請負保証額が減少したものの、堅調に推移している。雇用情勢は、完全失業率、有効求人倍率ともに好調に推移している。これらのことから、「景気は、拡大している。」(前回と同様)とみられる。

① 観光

- 入域観光客数は、平成 24 年 10 月以降 63 ヶ月連続で前年同月比を上回り、好調に推移している。
- 主要ホテル客室稼働率は、前年を上回っている。



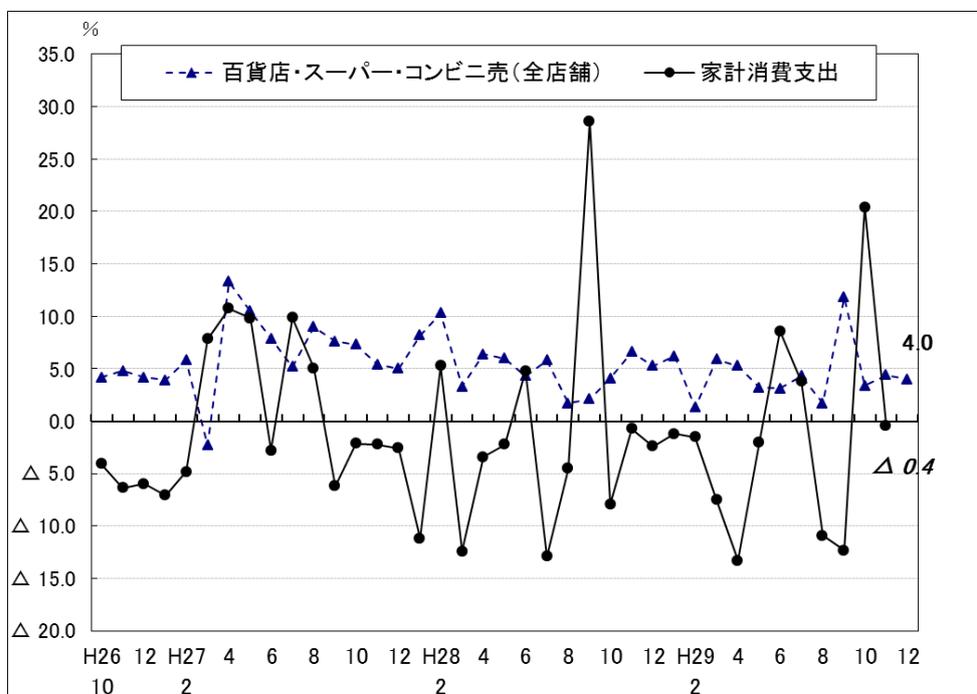
	入域観光客数						主要ホテル 客室稼働率 (%)	観光施設 入場者数 前年比	
	総数		国内客		外国客				
	(百人)	前年比※	(百人)	前年比	(百人)	前年比			
H28,10-12月	20,811	7.8	16,390	6.2	4,421	14.3	78.0	1.4	0.7
H29,1-3月	20,694	8.2	16,197	7.2	4,497	11.7	82.6	2.2	4.2
4-6月	22,986	9.8	16,027	6.3	6,959	19.0	80.5	1.3	5.3
7-9月	27,475	8.8	19,456	3.9	8,019	22.9	88.5	△ 0.4	2.3
10-12月	22,807	9.6	16,860	2.9	5,947	34.5	78.3	0.3	2.7
H28,10月	7,679	10.2	5,732	3.9	1,947	34.2	86.4	1.5	2.4
11月	6,502	4.9	5,400	6.7	1,102	△ 2.8	78.0	△ 0.2	△ 4.2
12月	6,630	8.1	5,258	8.3	1,372	6.9	69.7	2.8	3.9
H29,1月	6,530	12.3	5,058	8.4	1,472	28.1	76.3	1.3	6.1
2月	6,379	2.5	4,938	4.5	1,441	△ 3.9	87.5	1.4	△ 1.9
3月	7,785	9.8	6,201	8.5	1,584	14.9	84.4	4.1	7.8
4月	7,592	11.4	5,416	4.3	2,176	34.2	83.3	2.4	8.0
5月	7,406	6.2	5,238	6.8	2,168	5.0	76.9	1.8	3.5
6月	7,988	11.8	5,373	7.8	2,615	21.1	81.5	0.1	4.5
7月	9,079	12.7	6,152	4.5	2,927	34.7	86.7	0.5	4.5
8月	10,025	8.2	7,268	4.6	2,757	18.8	89.8	△ 0.5	4.8
9月	8,371	5.6	6,036	2.4	2,335	14.8	89.1	△ 1.3	△ 2.9
10月	7,993	4.1	5,701	△ 0.5	2,292	17.7	83.7	△ 2.7	△ 3.2
11月	7,629	17.3	5,805	7.5	1,824	65.5	81.4	3.4	10.9
12月	7,185	8.4	5,354	1.8	1,831	33.5	69.7	0.0	0.9

※本資料において「前年比」は、四半期指標が「前年同期比」、月次指標が「前年同月比」である。

また「前年差」についても同様に、四半期指標が「前年同期差」、月次指標が「前年同月差」である。

② 個人消費

- 百貨店・スーパー・コンビニ売上高は、既存店、全店舗ともに前年を上回っている。
- 家電製品販売額は、前年を上回っている。
- 自動車(新車)の販売は、総台数は前年を下回り、軽自動車は前年を上回っている。



	百貨店・スーパー・コンビニ売上高(前年比)		家電製品販売額 前年比	自動車販売(新車)			家計消費支出 (名目)		実収入 (名目)		
	既存店	全店舗		総台数	前年比	うち軽自動車	前年比	(円)	前年比	(円)	前年比
				(台)		(台)		(円)		(円)	
7-9月	3.0	3.2	△ 0.1	13,714	2.0	6,034	△ 1.9	218,587	2.2	313,816	△ 6.4
H28.10-12月	2.8	6.5	△ 3.3	10,196	1.7	5,240	0.8	203,253	△ 3.3	430,579	0.0
H29.1-3月	1.1	4.5	2.7	14,096	5.9	6,815	△ 1.1	202,796	△ 3.5	360,409	15.1
4-6月	1.1	3.8	△ 2.6	14,021	3.2	6,505	10.5	205,452	△ 2.4	407,144	13.3
7-9月	2.5	5.7	10.3	13,770	0.4	6,490	7.6	203,260	△ 7.0	302,523	△ 3.6
10-12月	1.6	4.0	4.2	9,978	△ 2.1	5,504	5.0	-	-	-	-
H28.10月	4.1	4.1	3.5	3,095	4.5	1,735	1.9	190,627	△ 7.9	347,549	△ 13.2
11月	2.9	6.6	△ 7.6	3,302	6.9	1,839	2.8	192,150	0.7	333,448	10.4
12月	1.7	5.3	△ 5.3	3,799	△ 4.4	1,666	△ 2.5	226,981	△ 2.4	610,741	3.7
H29.1月	2.3	6.2	△ 2.2	3,324	1.8	1,850	△ 3.1	200,342	△ 1.2	335,856	10.0
2月	△ 1.7	1.3	0.4	4,620	8.2	2,151	△ 7.4	196,379	△ 1.5	412,386	20.8
3月	2.6	5.9	8.9	6,152	6.5	2,814	5.7	211,667	△ 7.5	332,985	13.6
4月	2.2	5.3	0.0	4,040	△ 9.2	2,061	7.5	189,744	△ 13.3	359,597	6.8
5月	0.5	3.2	△ 6.2	3,666	1.9	2,049	9.2	198,735	△ 2.0	301,680	5.8
6月	0.5	3.1	△ 1.5	6,315	14.1	2,395	14.4	227,876	8.6	560,154	22.7
7月	1.3	4.3	10.6	6,082	△ 8.9	2,295	3.3	205,102	3.8	324,744	△ 2.3
8月	△ 1.7	1.7	13.9	3,707	12.5	1,878	9.8	193,935	△ 10.9	309,584	△ 2.7
9月	8.8	11.8	5.6	3,981	6.3	2,317	10.2	210,742	△ 12.3	273,240	△ 6.1
10月	0.7	3.4	1.5	3,137	1.4	1,813	4.5	229,463	20.4	348,214	0.2
11月	2.0	4.4	6.4	3,375	2.2	1,918	4.3	191,318	△ 0.4	255,362	△ 23.4
12月	2.0	4.0	4.7	3,466	△ 8.8	1,773	6.4	-	-	-	-

注：家計消費支出は二人以上の世帯、実収入は二人以上の世帯のうち勤労者世帯の数値

③ 建設関連

- 住宅着工は、戸数は前年を下回り、面積は前年を上回っている。非居住建築物については、面積、工事費ともに前年を下回っている。
- 公共工事請負保証は、件数、保証額ともに前年を下回っている。
- 主要建設会社受注額は、前年を下回っている。

	住宅着工				非居住建築物			
	戸数	前年比	面積(m ²)	前年比	面積(m ²)	前年比	工事費(百万円)	前年比
H28.10-12月	4,516	21.1	292,791	14.9	308,381	24.2	78,684	41.0
H29.1-3月	3,715	8.4	255,211	9.0	207,903	△ 10.0	54,203	△ 0.3
4-6月	3,919	△ 2.7	260,771	△ 5.7	209,160	3.4	66,841	33.8
7-9月	4,553	7.7	290,440	△ 0.9	491,918	151.6	113,966	162.5
10-12月	4,404	△ 2.5	306,249	4.6	185,404	△ 39.9	42,161	△ 46.4
H28.10月	1,731	54.8	113,823	65.0	71,370	△ 41.0	25,540	△ 7.9
11月	1,057	△ 19.1	67,170	△ 28.2	81,896	△ 7.6	18,718	△ 8.7
12月	1,728	32.3	111,798	21.0	155,115	301.0	34,426	353.6
H29.1月	1,215	△ 11.1	88,372	△ 4.6	136,723	29.1	40,984	67.8
2月	1,125	12.5	77,027	11.4	30,718	△ 62.6	4,180	△ 80.7
3月	1,375	29.5	89,812	24.0	40,462	△ 5.8	9,039	9.0
4月	1,528	8.4	100,043	15.0	51,706	△ 44.1	9,882	△ 62.8
5月	1,048	△ 3.4	61,826	△ 21.2	38,330	4.2	10,418	65.3
6月	1,343	△ 12.5	98,902	△ 11.0	119,124	63.1	46,541	172.9
7月	1,915	33.7	121,120	21.4	321,357	431.2	64,106	367.4
8月	1,425	31.7	89,352	17.5	101,280	146.8	30,336	267.6
9月	1,213	△ 29.2	79,968	△ 31.9	69,281	△ 26.3	19,524	△ 9.0
10月	1,392	△ 19.6	91,302	△ 19.8	59,290	△ 16.9	15,201	△ 40.5
11月	1,620	53.3	117,047	74.3	66,529	△ 18.8	14,498	△ 22.5
12月	1,392	△ 19.4	97,900	△ 12.4	59,585	△ 61.6	12,462	△ 63.8

	公共工事請負保証				主要建設会社 受注額(前年比)	建設資材価格 (那覇, H22=100)
	件数	前年比	額(百万円)	前年比		
H28.10-12月	1,066	△ 10.3	84,629	2.9	5.8	100.4
H29.1-3月	694	△ 8.0	102,200	5.4	△ 31.8	102.0
4-6月	681	0.6	68,412	23.5	16.8	102.5
7-9月	1,209	△ 10.9	109,970	13.3	18.3	102.4
10-12月	942	△ 11.6	70,482	△ 16.7	△ 23.3	104.6
H28.10月	410	△ 19.6	36,683	△ 24.1	3.0	100.1
11月	347	△ 4.9	24,026	62.2	18.8	100.1
12月	309	△ 1.3	23,920	25.1	0.8	100.9
H29.1月	217	△ 0.9	29,148	138.9	△ 8.4	101.7
2月	179	△ 23.8	27,499	△ 38.6	△ 47.6	102.1
3月	298	△ 0.7	45,553	14.0	△ 36.6	102.2
4月	158	△ 12.2	17,823	0.7	124.3	102.6
5月	199	17.1	16,886	18.4	△ 26.7	102.6
6月	324	△ 0.9	33,703	43.9	△ 57.4	102.2
7月	420	△ 0.5	45,031	31.8	128.2	102.2
8月	384	△ 4.2	41,576	66.3	49.6	102.4
9月	405	△ 24.2	23,363	△ 38.3	△ 53.6	102.7
10月	368	△ 10.2	28,073	△ 23.5	67.6	103.7
11月	285	△ 17.9	23,134	△ 3.7	△ 63.2	104.5
12月	289	△ 6.5	19,275	△ 19.4	△ 55.0	105.5

④ 雇用情勢

- 労働力人口、就業者数ともに前年を上回っている。
- 完全失業率(原数値)は、前年と同水準で推移している。
- 求職者数は、前年を下回って推移している。また、求人数は、前年を上回って推移している。
- 有効求人倍率は、前年を上回って推移している。

	労働力人口		就業者数		完全失業者数		完全失業率(原数値)		完全失業率(季調値)	
	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(千人)	前年差	(%)	前年差	(%)	前期差
H28.10-12月	718	12	692	20	26	△ 8	3.6	△ 1.1	3.9	0.1
H29.1-3月	718	8	691	13	27	△ 5	3.8	△ 0.7	3.9	△ 0.0
4-6月	719	7	690	17	28	△ 9	3.9	△ 1.3	3.8	△ 0.1
7-9月	709	9	684	12	25	△ 3	3.6	△ 0.5	3.4	△ 0.4
10-12月	726	8	700	8	26	0	3.6	0.0	3.9	0.5
H28.10月	718	9	692	18	26	△ 9	3.6	△ 1.3	3.9	0.3
11月	713	7	685	9	28	△ 2	3.9	△ 0.3	4.4	0.5
12月	722	21	699	33	23	△ 12	3.2	△ 1.8	3.5	△ 0.9
H29.1月	717	17	692	25	24	△ 9	3.3	△ 1.4	3.5	0.0
2月	721	7	693	9	28	△ 2	3.9	△ 0.3	4.1	0.6
3月	716	1	688	5	29	△ 3	4.1	△ 0.4	4.1	0.0
4月	716	6	689	21	27	△ 15	3.8	△ 2.1	3.4	△ 0.7
5月	715	3	690	16	25	△ 13	3.5	△ 1.8	3.3	△ 0.1
6月	726	13	692	13	33	0	4.5	△ 0.1	4.6	1.3
7月	722	22	694	27	28	△ 5	3.9	△ 0.8	3.5	△ 1.1
8月	706	9	682	11	24	△ 3	3.4	△ 0.5	3.2	△ 0.3
9月	700	△ 5	677	△ 3	24	△ 2	3.4	△ 0.3	3.4	0.2
10月	717	△ 1	689	△ 3	27	1	3.8	0.2	4.0	0.6
11月	733	20	704	19	29	1	4.0	0.1	4.2	0.2
12月	728	6	706	7	22	△ 1	3.0	△ 0.2	3.4	△ 0.8

	有効求職者数(季調値)		有効求人数(季調値)		有効求人倍率(季調値)		現金給与総額指数		所定外労働時間指数	
	(人)	前年差	(人)	前年差	(倍)	前年差	(H27=100)	前年比(%)	(H27=100)	前年比(%)
H28.10-12月	26,454	△ 1,297	26,916	2,008	1.02	0.12	116.8	1.9	103.1	2.7
H29.1-3月	26,875	△ 1,052	27,848	2,220	1.04	0.12	92.3	△ 0.1	102.3	3.0
4-6月	25,272	△ 1,685	28,851	2,720	1.14	0.17	107.0	△ 0.3	103.8	5.5
7-9月	25,282	△ 1,381	28,102	1,603	1.11	0.12	100.7	0.2	105.3	5.3
10-12月	25,620	△ 834	29,352	2,435	1.14	0.13	-	-	-	-
H28.10月	26,599	△ 982	26,675	2,261	1.00	0.11	90.3	1.6	104.6	2.2
11月	26,464	△ 1,376	27,027	1,992	1.02	0.12	93.6	△ 0.3	100.0	1.2
12月	26,298	△ 1,532	27,047	1,770	1.03	0.12	166.5	4.3	104.6	4.6
H29.1月	26,528	△ 841	28,684	3,661	1.08	0.17	90.0	△ 1.0	96.6	3.6
2月	27,190	△ 995	27,675	1,775	1.02	0.10	91.5	1.4	100.0	1.2
3月	26,906	△ 1,320	27,185	1,225	1.01	0.09	95.4	△ 0.6	110.2	4.3
4月	25,685	△ 1,792	28,707	2,801	1.12	0.18	93.6	0.3	106.8	2.1
5月	25,209	△ 1,667	28,481	2,450	1.13	0.16	92.4	0.3	102.3	8.5
6月	24,923	△ 1,597	29,364	2,909	1.18	0.18	135.1	△ 1.6	102.3	5.9
7月	24,968	△ 1,501	28,626	1,835	1.15	0.14	111.1	△ 0.5	108.0	10.5
8月	25,540	△ 1,190	28,257	1,727	1.11	0.12	99.0	△ 0.3	104.5	3.3
9月	25,337	△ 1,453	27,424	1,247	1.08	0.10	91.9	1.4	103.4	2.2
10月	25,630	△ 969	29,284	2,609	1.14	0.14	91.2	1.0	100.0	△ 4.4
11月	25,472	△ 992	29,129	2,102	1.14	0.12	91.8	△ 1.9	103.4	3.4
12月	25,758	△ 540	29,642	2,595	1.15	0.12	-	-	-	-

⑤ 物価

- 消費者物価指数は、総合指数、生鮮食品を除く総合指数ともに前年を上回っている。
- レギュラーガソリン小売価格は、前年を上回っている。

	消費者物価指数(H27=100)					レギュラーガソリン小売価格		
	総合	前年比(%)	前月比	総合(生鮮除く)	食料	(円/ℓ)	前年差	前月差
H28.10-12月	100.7	0.5		100.1	103.5	130	△ 2	
H29.1-3月	100.1	0.4		100.1	101.7	136	18	
4-6月	100.4	0.5		100.4	101.6	140	16	
7-9月	100.7	0.7		100.7	102.0	140	10	
10-12月	101.3	0.7		100.9	103.6	146	16	
H28.10月	100.7	0.3	0.5	100.1	103.5	129	△ 6	△ 0
11月	100.8	0.6	0.1	100.0	104.2	130	△ 1	1
12月	100.5	0.7	△ 0.3	100.1	102.7	130	1	△ 0
H29.1月	100.2	0.6	△ 0.3	100.0	102.1	135	11	5
2月	100.1	0.3	△ 0.1	100.1	101.6	135	20	0
3月	100.1	0.2	0.0	100.1	101.4	139	22	4
4月	100.3	0.4	0.2	100.3	101.6	141	21	2
5月	100.4	0.4	0.1	100.3	101.6	140	16	△ 1
6月	100.6	0.6	0.2	100.6	101.7	139	10	△ 0
7月	100.5	0.5	0.0	100.6	101.4	140	6	1
8月	100.7	0.7	0.2	100.7	101.7	140	11	0
9月	101.0	0.8	0.2	100.7	103.0	141	12	1
10月	101.1	0.3	0.1	100.8	102.8	144	15	3
11月	101.3	0.4	0.2	100.9	103.6	145	15	2
12月	101.6	1.0	0.3	101.0	104.4	148	18	3

⑥ 金融

- 地方銀行等の実質預金・貸出金は、前年を上回って推移している。
- 貸出金利は、緩やかに低下している。

	預金・貸出金残高(県内6行庫計)					地方銀行貸出約定平均金利	
	実質預金(A)		貸出金(B)		比率 (B/A) ※	全国(%)	沖縄(地元3行貸出 約定平均金利)
	億円	前年比(%)	億円	前年比(%)			月末水準(%)
H28.10-12月	46,378	2.3	34,611	6.4	0.75	1.069	1.628
H29.1-3月	46,381	3.0	35,390	6.3	0.76	1.052	1.596
4-6月	47,738	3.3	35,636	6.2	0.75	1.034	1.579
7-9月	48,213	3.2	36,184	6.1	0.75	1.021	1.569
10-12月	48,427	4.4	36,744	6.2	0.76	1.006	1.559
H28.10月	46,057	2.1	34,438	6.4	0.75	1.081	1.648
11月	46,507	2.5	34,525	6.5	0.74	1.077	1.639
12月	46,570	2.4	34,871	6.4	0.75	1.069	1.628
H29.1月	46,436	2.7	35,107	6.2	0.76	1.064	1.620
2月	46,174	2.7	35,341	6.4	0.77	1.060	1.613
3月	46,533	3.7	35,721	6.3	0.77	1.052	1.596
4月	47,452	3.5	35,697	6.3	0.75	1.047	1.600
5月	47,492	3.1	35,424	6.1	0.75	1.039	1.584
6月	48,269	3.3	35,789	6.1	0.74	1.034	1.579
7月	48,235	2.9	35,968	6.1	0.75	1.028	1.574
8月	48,028	3.1	36,180	6.2	0.75	1.026	1.571
9月	48,375	3.6	36,405	6.2	0.75	1.021	1.569
10月	48,222	4.7	36,551	6.1	0.76	1.017	1.569
11月	48,614	4.5	36,651	6.2	0.75	1.013	1.567
12月	48,445	4.0	37,030	6.2	0.76	1.006	1.559

※ 実質預金に対する貸出金の割合。この比率は、県企画部企画調整課で算出したものである。

⑦ 関係機関による景況調査等

- 景況については、短期経済観測調査、法人企業景気予測調査、県内企業景況調査の全てで現況・見通しともにプラスで推移すると判断している。
- 雇用については、全ての調査において、現況・見通しともに人員が不足するとの判断となっている。

※ 各調査は、調査対象や内容等に違いがあるため、調査同士の比較には注意を要する。

※ DI及び BSI は、回答の構成割合の差と定義される。例えば景況DIは、良いとの回答割合から悪いとの回答割合を差し引いたものである。

※ 法人企業景気予測調査は BSI を用いている。

景況(業況)DI・BSI(良い-悪い)	短期経済観測調査	法人企業景気予測調査	県内企業景況調査
H28. 10-12	37	6.8	3.2
H29. 1-3	37	3.4	9.5
H29. 4-6	33	0.0	11.9
H29. 7-9	38	18.0	19.2
H29. 10-12 (※1)	38 (34)	2.4 (13.9)	13.8 (18.3)
H30. 1-3(見通し)	36	7.3	15.0

※1 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDIである。

雇用DI・BSI(過剰-不足)※1	短期経済観測調査	法人企業景気予測調査	県内企業景況調査
H28. 10-12	△38	△32.5	△46.3
H29. 1-3	△40	△35.4	△49.3
H29. 4-6	△43	△35.6	△42.4
H29. 7-9	△43	△38.1	△50.7
H29. 10-12 (※2)	△45 (△47)	△38.7 (△31.4)	△51.9 (△55.8)
H30. 1-3(見通し)	△50	△37.0	△51.3

※1 法人企業景気予測調査と県内企業景況調査の原資料においては、(不足-過剰)とBSIを定義しているが、本資料では短期経済観測調査の表記に合わせて、符号を反転し、全て(過剰-不足)のDI・BSIとして掲載している。

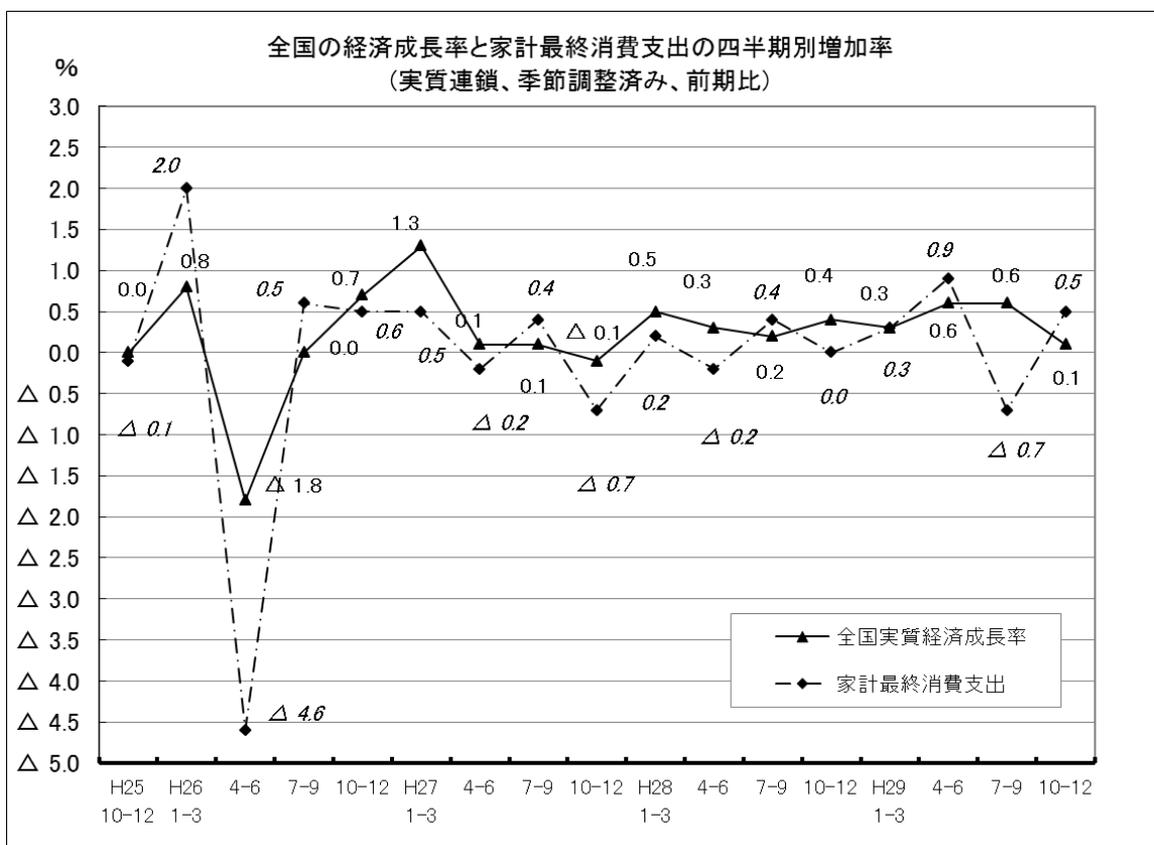
※2 下段括弧内は、前回調査における見通しとしてのDI・BSIである。

⑧ その他

- 鉱工業指数は、生産指数、出荷指数ともに前期を下回っている。
- 企業倒産の発生状況は、件数、負債総額ともに前年を上回っている。
- 全国の10～12月期の経済成長率は0.1%（年率0.5%）、家計最終消費支出は0.5%となった。

	鉱工業指数※ (季節調整済指数)				企 業 倒 産 (負債総額1千万円以上)					沖縄地区税関貿易額				
	生産指数		出荷指数		全 国		沖 縄			輸出額		輸入額		差引額 (輸出-輸入)
	H22=100	前期比	H22=100	前期比	件数	億円	件数	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円	前年比(%)	百万円
H28.10-12月	99.5	4.8	69.3	1.9	2,086	8,774	9	1,240	△ 35.3	8,152	△ 34.3	30,013	△ 54.3	△ 21,617
H29.1-3月	99.5	△ 0.0	66.7	△ 3.8	2,079	4,111	20	2,667	△ 1.5	8,850	30.1	40,443	△ 39.3	△ 31,592
4-6月	98.7	△ 0.8	70.4	5.6	2,188	17,993	8	591	△ 28.6	4,665	△ 50.4	52,597	23.2	△ 47,930
7-9月	101.6	2.9	73.0	3.6	2,032	3,181	7	507	32.4	11,280	240.8	38,490	1.1	△ 27,210
10-12月	98.2	△ 3.3	69.3	△ 5.1	2,106	6,392	15	2,458	98.2	7,559	△ 7.3	62,964	109.8	△ 55,406
H28.10月	102.7	9.0	70.8	7.3	683	1,112	2	270	△ 18.9	2,513	61.8	8,378	△ 63.3	△ 5,844
11月	96.7	△ 5.8	68.7	△ 3.0	693	5,945	4	770	15.8	3,891	△ 57.6	12,058	△ 58.5	△ 7,974
12月	99.1	2.5	68.5	△ 0.3	710	1,717	3	200	△ 78.2	1,748	4.7	9,577	△ 30.8	△ 7,799
H29.1月	98.1	△ 1.0	65.2	△ 4.8	605	1,285	4	141	△ 62.4	1,293	19.9	14,873	△ 46.5	△ 13,580
2月	86.3	△ 12.0	62.8	△ 3.7	688	1,158	8	760	169.5	1,365	14.8	7,919	△ 52.6	△ 6,554
3月	114.0	32.1	72.0	14.6	786	1,668	8	1,766	△ 13.9	6,192	36.5	17,651	△ 20.2	△ 11,458
4月	105.1	△ 7.8	71.4	△ 0.8	680	1,041	3	130	△ 78.2	1,305	△ 28.1	23,669	151.5	△ 22,364
5月	93.2	△ 11.3	67.8	△ 5.0	802	1,069	3	391	220.5	1,505	△ 59.8	13,804	12.0	△ 12,298
6月	97.8	4.9	72.0	6.2	706	15,883	2	70	△ 36.4	1,855	△ 51.7	15,124	△ 27.8	△ 13,268
7月	94.8	△ 3.1	69.0	△ 4.2	714	1,099	5	334	-	1,520	52.7	11,545	△ 0.8	△ 10,025
8月	108.3	14.2	76.9	11.4	639	924	1	157	9.8	2,265	94.2	12,714	△ 34.1	△ 10,449
9月	96.1	△ 11.3	67.3	△ 12.5	679	1,158	1	16	△ 93.3	7,495	552.3	14,231	99.4	△ 6,736
10月	103.6	7.8	70.5	4.8	733	959	3	307	13.7	3,397	35.2	25,490	204.3	△ 22,093
11月	92.8	△ 10.4	68.0	△ 3.5	677	1,457	8	852	10.6	2,196	△ 43.6	10,955	△ 9.1	△ 8,759
12月	-	-	-	-	696	3,976	4	1,299	549.5	1,966	12.4	26,519	176.9	△ 24,554

※鉱工業指数の値は、平成29年10月～11月平均



＜参考＞関係機関による景況判断

県内景況は拡大基調にある。また、国内景況は回復基調が続いている。

	内閣府 (月例経済報告: 全国)	内閣府 (地域経済動向) 四半期	日銀那覇支店	りゅうぎん総研	おきぎん経研	海邦総研	沖縄県
公表28/12 (指標10月)	景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		
公表29/1 (指標11月)	景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。	県内景況は緩やかに拡大している。	
公表29/2 (指標12月)	景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	景気は着実に回復している。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		景気は、拡大している。
公表29/3 (指標1月)	景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		
公表29/4 (指標2月)	景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。	県内景況は緩やかに拡大している。	
公表29/5 (指標3月)	景気は、一部に改善の遅れもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	景気は着実に回復している。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		景気は、拡大している。
公表29/6 (指標4月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		
公表29/7 (指標5月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。	県内景況は拡大している。	
公表29/8 (指標6月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	景気は着実に回復している。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		景気は、拡大している。
公表29/9 (指標7月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		
公表29/10 (指標8月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。	県内景況は拡大している。	
公表29/11 (指標9月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。	景気は着実に回復している。	県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		景気は、拡大している。
公表29/12 (指標10月)	景気は、緩やかな回復基調が続いている。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		
公表30/1 (指標11月)	景気は、緩やかに回復している。		県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。	県内景況は拡大している。	
公表30/2 (指標12月)			県内景気は、全体として拡大している。	景気は、拡大の動きが強まる。	県内景況は、拡大している。		景気は、拡大している。
公表時期	毎月下旬	月末(3ヶ月毎)	毎月月上旬	毎月下旬	毎月下旬	月上旬(3ヶ月毎)	月中旬(3ヶ月毎)

注1: 月例経済財報告(内閣府)においては、公表月の2ヶ月前の指標に加え、公表日まで得られた指標等も併せて判断している。

注2: 地域経済動向(内閣府)においては、公表月の前月までの指標等も併せて判断している。

出 典 一 覧

項 目	出 典
①観光	
入域観光客数	沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
主要ホテル客室稼働率	日本銀行那覇支店
観光施設入場者数	(株)りゅうぎん総合研究所
②個人消費	
百貨店・スーパー・コンビニ売上高	日本銀行那覇支店
家電製品販売額	日本銀行那覇支店
自動車販売	沖縄県自動車販売協会
家計消費支出(二人以上の世帯)	沖縄県企画部統計課
③建設関係	
住宅着工	国土交通省
非居住建築物	国土交通省
公共工事請負保証	西日本建設業保証(株)
主要建設会社受注額	日本銀行那覇支店
建設資材価格指数	(一財) 経済調査会
④雇用情勢	
労働力調査 (労働力人口、就業者数、完全失業者数、完全失業率)	沖縄県企画部統計課
労働市場の動き (求職者数、求人数、有効求人倍率)	厚生労働省沖縄労働局
毎月勤労統計調査 (現金給与総額指数、所定外労働時間指数)	沖縄県企画部統計課
⑤物価	
消費者物価指数	沖縄県企画部統計課
レギュラーガソリン小売価格	経済産業省 資源エネルギー庁
⑥金融	
預金・貸出金残高(県内6行庫計)	日本銀行那覇支店
地方銀行・約定平均金利(全国)	日本銀行
地元3行貸出約定平均金利(沖縄)	日本銀行那覇支店
⑦関係機関における景況調査等	
県内企業短期経済観測調査	日本銀行那覇支店
法人企業景気予測調査	沖縄総合事務局財務部
県内企業景況調査	沖縄振興開発金融公庫
⑧その他	
鉱工業指数	沖縄県企画部統計課
企業倒産	(株)東京商工リサーチ
沖縄地区税関貿易額	財務省沖縄地区税関
全国の経済成長率等	内閣府

注1: 電力使用量については、出典元の集計中止に伴い平成28年度分より掲載を取りやめ。

注2: 平成28年4-6月期分より沖縄地区税関貿易額のデータを追加。